

令和6年度 都城市立西中学校 第【 4 】回学校運営協議会報告書

日 時	令和7年 1月16日（木） 18時30分～19時30分	
場 所	西中学校 会議室	
参 加 者	委 員	川崎和也、赤塚隆志、柏木健一郎、森山和江、橋口 博和、坂元三郎、濱畑愛
	事務局	三浦徹也、衛藤卓哉、岩切隆宏
	その他	
会 次 第	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 1 開会のことば 2 都城市民憲章朗読 3 学校運営協議会会長あいさつ 4 学校長あいさつ 5 学校の現状と課題（説明） </div> <div> 6 学校評価の分析・考察 7 意見交換 8 支援ボランティア等の提案 9 閉会のことば </div> </div>	
協議内容	<p>1 学校の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の課題として、基礎学力の未定着、不登校の増加、業務過多あり→平準化、配慮の必要な生徒への対応、教師の多忙感、不足、働き方改革、教育 DX、時間外勤務の削減などがある。 ○ 特色ある取組として、全職員での特別支援学級の教科指導（インクルーシブ教育推進）、部活動改革（外部指導者配置、保護者会見守りで実施可）、さくら咲くタイム（自主学習の時間）、オープンスクールディ（地域の見守り、学校運営への助言）、スポーツゴミ拾い大会、ごみゼロ運動（学校ボランティアの広がり、更に地域へ）、今年度も、西中生徒会と都城西高校生徒会の中高連携などを行った。 ○ 2学期に、一部学級で落ち着かない現状があり、対策を講じている。少しずつ、改善傾向が見られている。全体的には落ち着いており学校生活を過ごさせている。 ○ 情報端末の取扱いの指導が時々あった。情報モラル教育のさらなる推進が必要である。 ○ 今 3 学期も含め、次年度は新校時程の試行期間、45 分授業の増設（働き方改革）、行事の精選などに関して改革を進めていく必要がある。 <p>2 学校評価の分析・考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の評価説明 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習、授業改革、生徒指導のあり方、職員の働き方改革について ※ 運営協議会委員からの意見等 <ul style="list-style-type: none"> ・幼・小・中・高の連携の重要性 ・家庭、地域への啓発・情報発信の重要性 ・スマホなどの家庭での約束、指導の重要性 ・情報リテラシーの育成 <ul style="list-style-type: none"> → 端末を自主的に使わせる→伸ばすところと制限するところを明確にした指導 →なぜ必要なのか理解を促す。 ・情報発信に関して、不足があったように感じる。今後の改善につなげたい。 	
そ の 他		